

# 湧 愛

YOU & I

編集・監修・発行

安曇野市男女共同参画推進会議

安曇野市男女共同参画コミュニケーター

安曇野市

事務局：安曇野市人権男女共同参画課

電話：(0263) 71-2000(代)

FAX：(0263) 71-5155

## 安曇野市男女共同参画フォーラム2017開催

男女共同参画フォーラム2017は、平成29年11月23日(木・祝)市役所4階大会議室において、63人が参加し行われました。

第1部は、文京学院大学名誉教授(法学博士)山下泰子さんによる講演会です。山下さんはネパールの山村に100人の女性教師を誕生させ、国内でも女性差別撤廃条約の研究や国際女性の地位協会の会長として活躍されています。

ネパールに学生寮を造り、山村の女性に教育プログラムを受講させ、10年間で100人の女性教師が誕生した内容や、この事業がネパールで根付くよう協力を続けること、また男女共同参画社会基本法について、1.男女の人権の尊重 2.社会における制度又は慣行についての配慮 3.政策等の立案及び決定への共同参画 4.家庭生活における活動と他の活動の両立 5.国際的協調について 等の内容を熱心に講演されました。

第2部は、意見交換会です。参加者が1グループ7~8人の7グループに分かれ、講演会を基にした3つのテーマについて意見交換を行いました。私たちは聞くことは得意ですが、自分を表現すること、言い換えれば話をするのは苦手かもしれません。講演会のみで帰宅された方もおられましたが、約50人で意見交換をしました。その時に出た意見を少し掲載します。

### 世の中で疑問に感じていることは何ですか？

#### 風潮やしきたり

- ・自由な発想が古いしきたりの中で発揮できない。
- ・政治の世界に女性が少ない ・言うだけで行動しない人が多い
- ・男社会と感ずることが多い ・女性の声は反映されにくい

#### 社会全般

- ・格差社会 ・少子化 ・価値観の多様化 ・情報量が多すぎる

#### 地域活動等の見直し

- ・助け合いの精神があるので、近所付き合いも大切
- ・地区役員は男性ばかり ・ボランティア活動は女性が多い
- ・児童の行事は休日でも母親ばかり

地域の課題も見える意見交換会となりました。皆さんはどう考えますか。



### ～目次～

- 1頁 ◆安曇野市男女共同参画フォーラム
- 2頁 ◆穂高商業高等学校との合同講座
- 3頁 ◆言葉の学習(エンパワーメント)  
◆地域を照らす
- 4頁 ◆中学生議会から  
◆男女共同参画カルタ  
◆つなぐ

## 穂高商業高等学校との合同講座から

平成29年11月24日(金)穂高商業高等学校講堂で男女共同参画講座を開催しました。この講座は、男女共同参画へ向けた意識を高校生に知って欲しいという思いと、進学や就職で社会へ出る生徒さん達の若い声も聞きたいと、市男女共同参画推進会議会員の要望から企画されました。

参加者は穂高商業高等学校3年生約160人と、教職員、市男女共同参画推進会議、市男女共同参画コミュニケーターで総勢約190人です。

第1部は、県男女共同参画センター所長の白鳥こずえさんによる「すべての人が輝くために」の講演をお聞きし、“男女共同参画とは”“固定的性別役割分担意識”“あらゆる暴力の根絶”“ワークライフバランス”などについて学びました。

第2部は、参加者が混じりあって16グループに分かれ、3つのテーマについてグループワークをしました。(下表参照)

1. 性別による役割分担を感じることは？	2. DVを意識すること、予防に心がけていることは？	3. 卒業後はどんな人生設計？
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お兄ちゃんもやればいいのに、自分だけ料理の手伝いをやらされる</li> <li>・ 男のくせに泣くなと言われる</li> <li>・ 男性：力仕事 / 土木 / 製造 / 管理職 女性：家事 / 福祉 / 接客 / 看護師 / 保育士 　　が当たり前</li> <li>・ あまり感じない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 束縛をしない</li> <li>・ 相手との接し方を考える</li> <li>・ 付き合わない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 結婚する</li> <li>・ 結婚しない</li> <li>・ 自分の好きな仕事をする</li> <li>・ 高校の教師</li> <li>・ 旅行する</li> <li>・ 当たり前を変えていく</li> <li>・ 自分が変わる</li> </ul>

講演会



グループワーク



### アンケートによる高校生の感想

- ・ 男女格差が思ったよりたくさんあった
- ・ 講座で学習して自分の考えが改められた
- ・ 男女平等な社会になるように意識したい
- ・ ためになる時間だった
- ・ 知らないことがたくさんあった
- ・ 好きな人ともステキな関係になれるといい
- ・ グループワークでのディスカッションが楽しかった
- ・ グループ発表の時、発表者は男子がほとんどで役割分担を感じた

## 言葉の学習2

# 働く場における エンパワーメントとは・・・ (empowerment)

この頃よく耳にするエンパワーメントとは、一般的には力をつけるという意味を持ち、権限を1人ひとりに与え、個人が本来持っている能力を自ら自覚し、組織の中で活躍していく行動力などをつけることだと定義されています。

この言葉が広がった要因のひとつに、女性活躍推進法の制定があります。この法律の背景には、少子高齢化に伴う労働力人口の減少から、家庭にいる女性に働き手として社会で活躍して欲しい思いが込められています。家庭と仕事を両立させながら働く、多様な働き方が認められる社会の形成が急務となっています。

女性活躍推進法には、女性の職業生活における活躍を推進するための政策が盛り込まれています。

例えば、常時301人以上を雇用する事業主に一般事業主行動計画の策定と公表が義務付けられ、事業主の責務や支援措置を定める必要があります。

企業や事業所において、上司だけではなく部下にも決定権限を与えるとスピーディに行動ができるようになると言われており、働く場において個人の能力を発揮し活躍できる場が公平・平等に与えられる仕組み作りが求められています。

## 地域を照らす

### コミュニケーション確保のための手話

安曇野市豊科 清水 香世

私が手話を学ぶきっかけになったのは、勤務先の聴覚障がい者の同僚から手話についての話を聞いたことからです。手話を学ぶにつれて、手話は健聴者の会話とは異なる言葉の文化であることが分かりました。聴覚障がい者は情報が不足がちであり、一見すれば健聴者と判断がつかないために誤解されることもあります。お互いの意思を円滑に伝えあうことが大変困難であるために、社会参加に大きな壁や誤解・差別が日常的にあることが分かってきました。

安曇野には「聴覚障害者協会」があり、平等な社会参加を目標に活動をしています。そのために手話と聴覚障がい者の理解を広げることを目的に、市の手話奉仕員養成講座の講師を務めたり自分達で学び合うサークル活動もしています。

近年、各地で自然災害等が多発していることから、災害に関する講習会や救急救命措置にも通訳活動で関わり「自分の身は自分で守る」「聴覚障がい者が出来ることは何か」等を一緒に学習してきました。災害などの時に一番大切なことは、情報の伝達と支え合い助け合いです。多くの方々が聴覚障がい者や手話を理解し覚えていただければと思います。

自治会によっては、毎年の防災の集会で手話を学習しているところもあります。このような活動にも参加協力させていただき、障がい者への理解と手話の普及にも関わっていきたいと思っています。

※ 平成29年12月現在、全国では109の自治体が「手話言語条例」を成立させています。長野県は平成28年3月に施行。県内の自治体では初めて佐久市で平成30年4月に施行されることが決まっています。



手話通訳

# 中学生議会から ～ 思いやりの社会 ～

堀金中学校 森川 晴仁

私は、中学生議会に参加し男女共同参画について学習してきました。そこで思った課題は、現在の社会における男女平等の取組は、まだ定着していないことです。

女性の社会進出が目覚ましい現代では、家庭内でも男女で協力して家事を行うことなどがもっと当たり前になるべきではないかと思います。今の日本ではまだ料理・洗濯は母親の仕事という意識があるように思います。その意識が変わらずして男女平等が定着してきたとは言い難いと思うのです。

そこで私は議会に次のことをお願いしました。①社会で活躍している女性の声を講演会などで広げ、②性別によって困っていることをテーマとした啓発活動を進め、③男性も女性も互いの思いを理解し、身近な生活の中から助け合おうという意識を高めていく必要があると思います。学校教育の中でも男女平等の視点に立って考えてみることで、社会や家庭の中で残っている固定観念を打破することに繋がると思います。

このような取組を各家庭、学校、社会生活の中で進めれば、男性、女性が互いを尊重し合い、思いやりのある安曇野市になるのではないのでしょうか。それは、男性、女性の間だけでなく、様々な違いを受け入れて互いの人権を尊重し合う社会づくりの基盤になるはずで

※中学生議会は平成 29 年 11 月 11 日 (土) に市役所議場で市内 7 中学校 18 人が参加し開催されました。



《男女共同参画カルタ》

## 男女共同参画川柳募集!

日常の一コマをお寄せ下さい。  
応募先：市役所 人権男女共同参画課へ  
ご持参ください。応募作品は未発表のものでお願いします。

採用された方には粗品をプレゼント!



## 子育て!!

男女平等と言われる様になってかなりの年月がたちますが、まだまだ平等にはなっていません。

子育てについても育休や時短制度が出来ている職場で子育てと仕事を両立させて頑張っている人が大勢います。大半は女性です。もっと男性が参加しやすい環境も必要です。

また、すべての職場に制度が有るわけではありません。無い所では退職を余儀なくされたり、正規から非正規へと変わらざるを得ない人もいます。安定した生活の基盤が変わってしまいます。どこの職場でも制度の導入が求められているのではないのでしょうか。

そして利用しやすい制度への見直しや周囲の暖かい目で「これで少子化ストップ!」のはずみになればよいですね。

(編集室)